



柳井市

地震防災マップ

－ 大竹断層で地震が起きることを想定した **ゆれやすさマップ** －

「地震防災マップ作成技術資料 平成 17 年 3 月 内閣府（防災担当）」により作成

地震防災マップ（ゆれやすさマップ）とは、地盤の状況とそこで起こりうる地震の大きさとの両面から、地域のゆれやすさを評価したものです。活断層からの距離が近いほど、ゆれは大きくなります。距離が離れていても、表層地盤が軟らかいほど、ゆれは大きくなります。



0 1 2 km
S=1/40,000

凡 例

国道
主な県道

震度階級

震度 6 弱

震度 5 強

震度 5 弱

柳井市では、「大竹断層（小方－小瀬断層）」で気象庁マグニチュード7.2の地震が発生した場合のゆれを予測し、「柳井市地震防災マップ（ゆれやすさマップ）」を作成しました。
大竹断層は柳井市耐震改修促進計画における想定地震の震源断層であり、柳井市に最も大きい影響を与える活断層です。

震源断層位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平 22 業複、第 127 号)